

屋根貸しソーラー事業の事業計画策定フロー（案）

公共施設調査結果の分析

- ◆ 設置単価をできるだけ低くする（屋上よりは平置き、パネル設置に当たって施設の補修が不要、築年数浅いなど）
- ◆ 設置単価が同じ程度と考えられるならば、できるだけ大きい容量を乗せられる施設を選定
- ◆ 学校に1か所は設置すべきではないか。（PR効果、環境教育への活用、防災対策が期待できる。）
- ◆ 市民ファンドや資本金の額とのバランスにも留意が必要

仮候補地の選定

詳細調査

- ◆ 積載荷重計算（市役所内部で実施）
- ◆ 必要があれば実地調査を実施
- ◆ 管財担当や施設所管部局と調整（施設整備計画との整合性、貸付条件など）

設置候補地決定

事業採算性詳細分析

- ◆ パネル割り付け（→設備容量確定）
- ◆ 建設コスト試算（パネル単価、工事費用、系統連系費用等）
- ◆ 詳細な分析は専門業者に委託

屋根貸しソーラー事業の事業計画決定

積載荷重等の条件を満たさない場合